

# 高松交響楽団

## 第115回定期演奏会

創立65周年記念 vol.1

コンサート  
あなたの街の演奏会

TOYOTA COMMUNITY CONCERT

第1560回



ドイツ  
ロマン  
派

伝統と革新の

響き

TAKAMATSU  
SYMPHONY  
ORCHESTRA  
Since 1951

2016.6.12日 開演 14:00  
香川県県民ホール 大ホール  
(レクザムホール)



- 主催：高松交響楽団 (TSO)
- 協賛：香川県トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社
- 協力：公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟、高松国際ピアノコンクール組織委員会
- 後援：香川県、高松市

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。www.toyota.co.jp/tcc/

## ごあいさつ



香川県トヨタ販売会社グループ幹事店  
香川トヨペット株式会社  
代表取締役社長

**灘波 博司**

本日は、「高松交響楽団 第115回定期演奏会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

トヨタコミュニティコンサートは“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ販売会社グループとトヨタ自動車在全国で活動するアマチュアオーケストラの公演を支援し開催するもので、1981年以来、今回で1560回目を迎えることになりました。

たくさんの方たちに、もっと気軽に音楽とふれあっていただきたい、オーケストラによる生の演奏を聴いていただきたい。そんな願いを込めて、毎年全国各地で喜びと感動をお届けしています。

今回は指揮に、田中一嘉さん、ソリストにピアノのリード希重奈さんをお迎えしてピアノコンチェルト他をお送りいたします。心ゆくまでお楽しみいただければと存じます。

今後のトヨタコミュニティコンサート活動が、地域の文化力向上の一助となりますことを祈念いたしますとともに、開催にあたりご支援を賜りました皆様に厚くお礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

### — 65周年を迎える —



高松交響楽団 会長

**大西 晏**

今は亡き創立者緒方益園氏が「香川にオーケストラを」の理念を掲げて有志を募り、香川県下ではじめてのアマチュア・オーケストラの音が響きわたりましたのは昭和26年の夏のことでありました。当時の新聞は「音楽は明日への力」と題して、県音楽界の県人による本格的な交響楽団の誕生として高松交響楽団への激励とともに大きな期待を寄せる記事を掲載いたしております。そしてその年の11月10日当時香川県公会堂での演奏会をもって第1回といたしております。そのときのポスターに大きく第1回演奏会の文字が堂々と輝いているのです。これを見るたびに続けてゆくそして、続くことを信じてスタートした当時のメンバーの意気込みを今に感じて、身の引き締まる思いであります。

爾来65年、多くの人のご指導ご支援を得て、ようやくここに記念シリーズの第1部として第115回定期演奏会を迎えることが出来ました。とくに今回はトヨタコミュニティコンサートとして日本アマチュアオーケストラ連盟、高松国際ピアノコンクール委員会のご協力そして香川県、高松市のご後援を得て公演の運びとなりました。関係各位に厚く御礼を申し上げますとともに、これまで長い間今日の高響に育てて戴きました多くの皆様方に心から感謝の意を表しまして、ご挨拶といたします。どうぞ最後までお楽しみください。

## Program

歌劇「魔弾の射手」序曲 (C.M.ウェーバー)

ピアノ協奏曲 イ短調 (R.シューマン)

- I. Allegro affettuoso
- II. Intermezzo : Andantino grazioso
- III. Allegro vivace

～ Pause ～

ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 管弦楽編曲版

(J.ブラームス/A.シェーンベルク編) 【四国初演】

- I. Allegro
- II. Intermezzo : Allegro ma non troppo
- III. Andante con moto
- IV. Rondo alla Zingarese

## Program Note

### 歌劇「魔弾の射手」序曲 (C.M.ウェーバー)

カール・マリア・フォン・ウェーバー (1786～1826) は、ドイツロマン派のオペラ様式を完成した作曲家として知られています。彼の作品の中でも一番の傑作と名高いのが「魔弾の射手」です。

あらすじ 狩人マックスが、恋人アガータと結婚するための条件として挑んだ射撃大会。悪魔に魂を売った同僚カスパールが「悪魔から“魔弾”を手に入れろ」とマックスに持ちかける。「魔弾」は百発百中だが最後の一発は「悪魔が望む者」に当たるという恐ろしい弾。「魔弾」を手に入れた二人は、射撃大会に臨む。実は、カスパールは、悪魔に「最後の一発は生贄としてアガータに当てて欲しい」と頼んでいたのであった。射撃大会当日、マックスから放たれた魔弾の最後の一発!しかし、事切れたのはカスパールだった。「悪魔が望む者」はカスパールであったのだ。事のいきさつを話したマックスは、怒った領主に追放されかけるが、1年間の試練の後、どうにかめでたく結婚を許されたのだった。

### ピアノ協奏曲 イ短調 (R.シューマン)

ロベルト・シューマン (1810～1856) が生涯に完成したピアノ協奏曲はこの1曲のみです。まず最初は単一楽章の「ピアノと管弦楽のための幻想曲」として構想されましたが、後にピアノ協奏曲として作曲され1846年にシューマンの愛妻クララの独奏で初演されました。



シューマンと妻クララ

**第1楽章** 強烈な冒頭の打撃音。間髪入れずピアノのなだれ落ちるような音形が続くという、かなり印象的な前奏で始まります。一気にこの曲に引き込まれることでしょう。そして、オーボエが哀愁漂う美しい第1主題を吹奏します。第2主題も第1音形から紡ぎだされます。ピアノのカデンツァを経て、コーダは第1主題の断片が執拗に繰り返される中、ピアノが鍵盤を駆け回り対旋律をつけつつ情熱的に締めくくられます。

**第2楽章** 軽く愛らしい主題がピアノとオーケストラの掛け合いで進み、中間部は一転してチェロ等による暖かいメロディーが出てきます。シューマンの音楽ならではの詩的な雰囲気をも十分に味わえる楽章です。楽章の終わりで1楽章が回想され、第3楽章に休みなく突入します。

**第3楽章** 明るく弾力に富んだ第1主題がピアノによって奏され、それに応えて、オーケストラが急速に音階を駆け上がり、元気よく楽章は始まります。その後、オーケストラが軽やかに提示する第2主題は、ヘミオラ (3拍子と2拍子の同時進行) になっていて、面白い演奏効果を生み出しています。瑞々しい生命力に富んだ終楽章です。



## ピアノ四重奏曲第1番 小短調 管弦楽編曲版 (J.ブラームス=A.シェーンベルク編)

ヨハネス・ブラームス(1833~1897)は「交響曲」や「協奏曲」といったオーケストラ用楽曲の大家として数々の大作を世に送り出していますが、彼の作品は、そのみならず、オペラを除くほとんど全てのジャンルにわたって、少人数の楽器で演奏する「室内楽」にも名作が多くあります。中でも、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの4つの楽器で演奏する「ピアノ四重奏曲」というジャンルでは、3曲の作品が残されています。その内の第1番は、ブラームス28歳という若い時期の作品です。悲劇的な表情と、激情的な表情が若いころのブラームスの作品の特徴ですが、第1番では特にそれが際立っています。

さて、ブラームスが世を去った後に、隣国オーストリアの作曲家アルノルト・シェーンベルク(1874~1951)がこの曲に注目します。シェーンベルクは、「12音技法」という新しい作曲方法を編み出した、いわゆる「現代音楽」の先駆者のひとりですが、先人への敬愛も深かった彼は、尊敬するブラームスのこの楽曲をオーケストラ用に編曲しました。

ところで、交響曲等、ブラームスのオリジナル管弦楽曲をお聴きになったことのある方はご存知と思いますが、ブラームスの管弦楽曲は、派手な響きを抑えた「渋さ」「重厚さ」が特徴です。しかし、シェーンベルクのオーケストラ編曲は、楽器の発達した20世紀音楽ならではの「華やかさ」が際立っていますし、ブラームスが使ったことの無い楽器まで動員しています。恐らく、ブラームス自身が編曲したのなら、全く違った響きになったことでしょうか、それはさておき、沢山の楽器を効果的に使った響きは、魅力的な原曲の雰囲気損ねることなく、原曲をより一層分かりやすく魅力的にしています。

ドイツロマン派の代表作曲家ブラームスと、20世紀の革新的作曲家のシェーンベルクの手によるこの楽曲は、近年、世界的に、また、日本でも首都圏等ではよく演奏されポピュラーになりつつありますが、地方での演奏はまだ少なく、ここ四国では堂々の初演となります。四国に初めて鳴り渡る「ドイツロマン派 伝統と革新の響き」を心ゆくまで存分にお楽しみ下さい。

**第1楽章** 「レ シ♭ ファ# ソ」とはじまるほの暗い音形が第1主題です。このシンプルな主題から、後に続くメロディが紡ぎだされていきます。シンプルな物から大きな音楽を作る手法は、ブラームスの音楽の真骨頂であり、先人ベートーヴェンからの流れを汲むものです。主として陰鬱な気分が楽章を支配しています。全楽章中、最も長大で、深く充実した楽章です。

**第2楽章** 間奏曲(Intermezzo)と題された、いわば息抜きの楽章です。軽妙ですが、前楽章の雰囲気若干残した暗さの入り混じった旋律が続きます。中間部では、長調に転じ明るくなりますが、独特の浮遊感や寂寥感があります。全体を通して、非常に不思議な感じのする音楽です。

**第3楽章** 緩やかなテンポで、安らかで牧歌的なメロディーから始まり、曲は極めて伸びやかに進みます。これぞドイツロマン派の大家ブラームスの音楽といえるでしょう。中間部では、打楽器も動員しつつ行進曲調に盛り上がっていきませんが、やがて鎮まり、最初のメロディーが戻って感動的に発展し、やがて静かに終わります。

**第4楽章** 楽章の表題を訳すと「ジプシー風ロンド」。ハンガリー・ジプシーを思わせる情熱的な第1主題と、たくましく豪華な第2主題によるロンド(輪舞曲)です。ブラームス20代の「若さ」、前半楽章の陰鬱な雰囲気をはね飛ばす「熱さ」がみなぎるフィナーレです。



若きブラームス



シェーンベルク

### 熊本地震支援募金にご協力をお願いします(ロビーにて)



(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟は、全国の会員オーケストラと共に、熊本地震で被災された皆様と熊本県で活動する会員オーケストラを支援するための募金を行っています。

各種行事の記録ビデオ制作をはじめ映像情報コンテンツの制作なら

### 株式会社 よんでんメディアワークス

TEL (087) 818-1071  
FAX (087) 818-1072  
URL <http://www.ymw.co.jp>  
E-mail [info@ymw.co.jp](mailto:info@ymw.co.jp)



スタインウェイピアノ 香川縣正規特約店  
有限会社 **高松ピアノ工房**  
ピアノ・オーバーホール・調律・修理・レンタル  
■ショールーム/  
高松市木太町7区3685 TEL:087-833-6049  
■工場/  
高松市木太町7区3464 TEL:087-833-9433

### 楽器堂

GAKKIDO CORPORATION  
[www.gakkido.jp](http://www.gakkido.jp)



いい音楽との出会いを大切にします  
ピアノ 管楽器 弦楽器 キターベース 打楽器 及び楽譜販売  
**楽器堂オーバサイオンモール高松店**  
高松市香西本町1-1イオンモール高松1F  
TEL: 087-832-8016

楽器に関するご相談、何でも受付中です!



## 指揮 田中 一嘉 *Kazuyoshi Tanaka*

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を故斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。コントラバスを江口朝彦、堤俊作の両氏に師事する。在学中より同大オーケストラ定期演奏会、オペラ公演等を指揮し、故斎藤秀雄、森正、秋山和慶の各氏及びプロダグス・アール氏、河里予俊達氏、フランコ・フェララー氏らの指導を受ける。学外では、日本オペラ協会、長門美保歌劇団、東京アカデミー合唱団指揮者として、数多くのオペラ、合唱曲、特に宗教音楽分野での実績を積む。'76年、大学在学中に第4回民音指揮者コンクール（現東京国際音楽コンクール）入選。奨励賞受賞。卒業後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮者。群馬交響楽団指揮者を歴任。これまでに、国内主要オーケストラを初め、'92年にはヤナーチェク春の音楽祭（チェコ・オストラヴァ）にてヨーロッパデビュー。'95年にはカルロビ・ヴァリ交響楽団を指揮。00年ドイツ・ロットヴァイル夏の音楽祭。'01年ベルリン日本週間での公演。'03年ウィーン・ムジックフェラインザールでの日境合同第九演奏会等その活動は多岐に及んでいる。現在、昭和音楽大学講師。また、かがわ・ジュニアフィルハーモニックオーケストラ（KJO）の指揮者陣を務めている。



## ピアノ リード希亜奈 *Kiana Reid*

【第3回 TIPC 高松国際ピアノコンクール ファイナリスト】

1995年滋賀県生まれ。PTNA ピアノコンペティション全国大会において、C級金賞、G級銀賞、王子ホール賞、洗足学園前田賞など多数受賞。2006年、京都芸術祭にて京都市長賞受賞。2012年、ザルツブルグ音楽祭公式プログラムにて演奏する。2015年、おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションにて最優秀共演者賞受賞。カルロ・ヴィドゥッソ国際ピアノコンクール（イタリア）第2位。これまでに山下一史、藤岡幸夫、梅田俊明の各氏指揮のもと、瀬戸フィル、関西フィル、藝大フィルと共演。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、現在東京藝術大学音楽学部器楽科4年在学中。学内にてアリアドネ・ムジカ賞受賞。2015年度ヤマハ音楽奨励学生。これまでに、ピアノを故沙卷公子、甲斐環、野山真希、岡原慎也、有森博の各氏に、室内楽を江口玲、河野文昭、伊藤恵、川本嘉子の各氏に師事。



## コンサートマスター 福崎至佐子 *Hisako Fukuzaki*

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ヴァイオリンを故 神崎初美、故 巖本真理、故 岩崎洋三、ボヤン・レチュフ、徳永二男に、室内楽を故 ルイ・グレーラーの各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団を経て1972年、新日本フィルハーモニー交響楽団アシスタントコンサートマスターに就任。コンサートマスターのルイ・グレーラー氏と弦楽四重奏を組みTV、FM東京、CM、映画音楽、レコーディングに活躍する。1985年、高松に帰郷し、ゴールドブレンドコンサート、四国二期会オペラ、四国学院大学メサイア演奏会などでコンサートマスターをつとめる。現在、高松大学名誉教授。かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ（KJO）音楽監督。高松交響楽団常任コンサートマスター。新日本フィルハーモニー交響楽団団友。日本演奏連盟会員。日本クラシック音楽コンクール・全四国音楽コンクール・山陽学生音楽コンクール等審査員。平成13年度「香川県教育文化功労者表彰」、第42回「四国新聞文化賞」、平成16年度「香川県文化功労者表彰」受賞、第67回「山陽新聞賞（文化功労）」受賞。平成21年度地域文化功労者文部科学大臣賞受賞。第20回（2011年）第23回（2014年）日本クラシック音楽協会優秀指導者賞受賞。

## 管弦楽 高松交響楽団 *Takamatsu Symphony Orchestra*



1951（昭和26）年8月、故 緒方益園氏が県内の有志を募って創立。同年11月香川県公会堂において第1回定期演奏会を開催し、高松に初めてオーケストラの灯を燈す。爾来、半世紀以上に亘る活動を続け、2016年に創立65周年を迎えた。これまで110回を超える定期演奏会をはじめ、県内外での特別演奏会、青少年を対象にした音楽教室の実施、香川県県民ホール開館20周年記念オペラ「蝶々夫人」全幕公演（2008年）、サンポートホール高松開館5周年記念「カルミナ・プラーナ（バレエ付き）」公演（2009年）をはじめ、オペラ・バレエ等の他団体や地元音楽家との共演など地域に深く根ざした幅広い活動を積み重ねている。2001年に迎えた創立50周年を機に新たな半世紀に向けた取り組みとして、高響団員を中心に新たに編成された「コレギウム・ムジクム高松」、「高松オペラシティア・オーケストラ」などの多面的なオーケストラ活動を展開している。さらには2001年より香川県の主催事業となった「かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ（KJO）」、2003年1月に設立された「丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ（MCO）」への演奏・運営面での全面協力など、地域音楽文化の核ともいえる重要な役割を担う香川のマスター・オーケストラとして様々な取り組みを行っている。1987年、地方文化の発展に大きく貢献した功績から音楽団体として四国で初めての「地域文化功労者表彰」を文部大臣より受賞。2008年、香川県より栄えある第1回「文化芸術選奨」を受賞。現在、オーケストラの団員数は、約150名。

# TOYOTA



## 感動の数だけ、 音楽がある。

1981年から始まった「トヨタコミュニティコンサート」。

トヨタは“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”

を目的に、全国のアマチュアオーケストラ活動を

応援しています。

**香川県トヨタ販売会社グループは、  
アマチュアオーケストラ活動を応援しています。**

**香川県トヨタ販売会社グループ**

香川トヨタ自動車 香川トヨペット トヨタカローラ香川 ネットトヨタ香川 ネットトヨタ高松

**トヨタ自動車株式会社**

トヨタコミュニティコンサートの情報は  
インターネットでより詳しくご覧いただけます。  
[www.toyota.co.jp/tcc/](http://www.toyota.co.jp/tcc/)



● ● ● ● ● 未来を考えた環境に優しいクルマづくりを目指して。 ● ● ● ● ●



アクア



SAI



プリウス



プリウスα



プリウスPHV